

令和5年2月14日

保護者の皆様へ

千葉市立星久喜小学校
校長 植草 奈保美

学校評価結果について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、先般実施いたしました学校評価アンケートの結果についてお知らせいたします。皆様から頂いたご意見をもとに、来年度に向けて教育活動の一層の充実を図っていききたいと思います。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。なお、紙面の都合上、抜粋しております。何卒、ご了承ください。

学校評価の考察

1 三者（児童・保護者・教職員）の比較から

(1) 差が少ない項目（肯定的評価比率）

問6 学習の定着

（児童 95%、保護者 89%、教職員 96%）

問8 子供の様子

（児童 94%、保護者 97%、教職員 100%）

(2) 差が大きい項目（肯定的評価比率）

問4 児童理解

（児童 94%、保護者 86%、教職員 100%）

問5 学校行事

（児童 90%、保護者 97%、教職員 81%）

2 上位項目（肯定的評価比率）

(1) 児童 問1 学習の定着 (95%)

問6 安全指導 (94%)

(2) 保護者 問6 子供の様子 (97%)

問8 安全指導 (96%)

(3) 教職員 問1 安全指導 (100%)

問4 子供の様子 (100%)

下位項目（肯定的評価比率）

(1) 児童 問5 人材活用 (86%)

問2 基本的な生活習慣 (87%)

(2) 保護者 問5 児童理解 (86%)

問4 人材活用 (87%)

(3) 教職員 問5 人材活用 (76%)

問10 学校の様子 (79%)

【差が少ない項目】学習の定着は、ほとんどの児童が学習に前向きに取り組み、保護者も肯定的にとらえ、教職員の学力定着に向けた前向きな努力も表れている。引き続き、児童の様子に目を配り、わかる授業を実施する中で、しっかり考えて学ぶ子の育成を目指していきたい。

【差が大きい項目】学校行事は、その時点での状況に合わせた実施が続いており、教職員にはコロナ禍での難しさを感じていることが表れている。そのような中、児童・保護者においては、学校行事の意義を十分感じているという結果となった。今後も学校行事を含めた生活全般において、活動の価値を見直しながら、教育的効果が高まるような活動を実施していきたい。

【上位項目】安全指導については、校庭まで避難する訓練と、避難までの動きをメインにしたプチ避難訓練を実施している。また、学校生活で起きた事案等を題材にした指導は、日常的に実施している。今後も、登下校の歩き方も含め、児童自身が自分で安全に過ごすことができるよう、継続して指導を続けていきたい。

【下位項目】人材活用は、今年度は多くの外部人材を招聘して学習を進めることができた。コロナ禍においても活用が少しずつ進んでいる意識が、教職員の中に高まってきている（昨年度64%）。専門的な外部人材から学べている価値について、児童にも保護者にも伝わるよう更なる工夫が必要と考える。